

# 会派視察研修計画書

平成29年7月19日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤 厚雄

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	大竹 敦子	
日時	平成29年8月2日（水）～平成29年8月3日（木）	
視察先	東京都千代田区 東京都品川区 埼玉県入間市	
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公会計財務書類の新たな活用方策 財務情報の更なる開示と効率的な行財政運営に向けて～公認会計士に求められる役割～（東京都千代田区）</li> <li>・ 「すまいるスクールについて」（東京都品川区）</li> <li>・ 「QRコードを活用した徘徊認知症高齢者の早期発見について」（埼玉県入間市）</li> </ul>	
日程	8/2 東京都千代田区 14:00～16:40 8/3 東京都品川区 9:30～11:00 埼玉県入間市 14:00～15:00	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名（ 碧南中央駅 ）	自家用車利用 _____ 台 所有者名（ _____ ）

# 会派視察研修報告書

平成29年9月26日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤厚雄

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 1名 分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	大竹 敦子
日時	平成29年8月2日（水）～平成29年8月3日（木）
視察先	東京都千代田区 東京都品川区 埼玉県入間市
研修内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・公会計財務書類の新たな活用方策 財務情報の更なる開示と効率的な行財政運営に向けて～公認会計士に求められる役割～（東京都千代田区）</li><li>・「すまいるスクールについて」（東京都品川区）</li><li>・「QRコードを活用した徘徊認知症高齢者の早期発見について」（埼玉県入間市）</li></ul>
日程	8/2 千代田区 14:00～16:40 8/3 品川区 9:30～11:00 入間市 14:00～15:00
備考	

## 会派視察研修成果報告書

平成29年 9月26日

議員氏名 大竹敦子

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

- 1 期間 平成29年 8月 2日（水）～平成29年 8月 3日（木）
- 2 視察先 東京都千代田区、品川区  
埼玉県入間市
- 3 視察の種類 研修及び先進地視察
- 4 視察の成果等

#### 公会計協議会主催セミナー「公会計財務書類の新たな活用方策」について

#### 基調講演「地方財政を巡る諸課題と地方公会計の推進について」

地方財政計画の歳出の推移は、高齢化の進行により社会保障費の増加する中で、全体的に抑制基調にある。また、1970年代に建てられた公共施設も、一斉に老朽化が進んでくる。今後は、人口減少にあわせ、施設の利用需要の状況にあった整備の中で、統廃合の検討が必要になってくる。施設の投資的経費もこれまでは新規の建設と更新費用が五分五分であったが、これからは、新規がなく更新にのみ費用をかけていく傾向が強い。

地方公会計も、これまでの現金主義会計から発生主義による正確な行政コストの把握、また、公共施設マネジメント等への活用の必要性から、発生主義による、ストック情報、フロー情報を総括的に把握できる発生主義会計で現金主義会計を補完する日通用がある。財務書類は統一的な基準を設定し、①発生主義・複式簿記の導入、②固定資産台帳の整備、③比較可能性の確保を促進することが必要。そのため、マニュアルを作成し、公表し、標準的なソフトウェアを開発、財政的支援、ノウハウの提供も必要になる。

財務書類の整備について、平成29年度中の整備を考えている自治体が99%という状況である

財政指標の設定には、マクロ的視点とミクロ的視点から見る必要がある。マクロ的視点には、施設類型別減価償却率の把握によるメリハリのある予算編成、施設更新必要額のシュミレーションによる見える化の推進、基金等による財源の確保、類似団体との比較による検討などが考えられる。

ミクロ的視点では、施設別の行政コスト計算書の作成、中長期的なコストの見える化、施設ごとの予算科目の細かい設定、施設の計画的かつ適切な保全管理、使用料等の受益者負担の適正化、行政評価の活用によるコスト削減と市民サービスの向上などが考えられる。

議会での活用として、情報開示が重要になる。予算説明資料では、各事業に係る人件費、減価償却費が見えにくくなるので、事業別のフルコストを表示したアニュアルレポートを作成するとよい。

## パネルディスカッション

### 公会計財務書類の新たな活用方策と公認会計士の役割について

千葉県習志野市では、市職員の人材育成の一環として、平成22年度、23年度の2か年で自主的な公会計改革スタディグループを25回実施し、延べ305人の職員が参加し、「簿記3級講座」「大阪府の取り組みについて」「財政支援ツールについて」「バランスシート探検隊事業について」の講習を受けた。この勉強会で、多くの職員が公会計改革の必要性を理解した。その後、自主的な簿記勉強会により、職員のレベルが上がった。また、参加した職員には大変有意義な研修になった。市民に対しては、公認会計士による「財務報告会」を実施している。

## 提言

碧南市でも、将来の公共施設の管理運営について、資産管理課を設置し、固定資産台帳の作成をしている。それらを活かして、確実に将来の公共施設の長寿命化へ、役立てていき、市の財政を安定的に市民サービスへの行使していくためにも、マクロ的視点とミクロ的視点に分けて見えるかを進めていくべきである。また、今後、公共施設の統廃合なども検討していかなければならない状況が来るので、ぜひ、議員への情報開示の方法として、事業別アニュアルレポートの作成をしていただきたい。

また習志野市の取り組みも、職員の公会計改革の意識向上のため、実施できることを提案したい。

## 品川区全児童放課後等対策事業「すまいるスクール」について

品川区で実施されている「すまいるスクール」は国の施策である「放課後子ども総合プラン」として「放課後子どもクラブ」と「放課後子ども教室」を一体化して運営している事業です。学校施設を活用した安全な居場所を提供し、学びと遊びを通して子どもたちの成長を育んでいる。また、子どもたちの学年を超えた交流、地域ボランティアの方々との触れ合いもあり、学校とも連携し、総合的な子どもたちの見守りである。

### 導入への背景と経緯

子どもたちの地域で遊ぶ姿が見られなくなり、子どもたちを巻き込む犯罪の多発、塾や習い事、テレビゲームの普及など子どもたちの放課後環境の変化から、留守家庭児童のみならず全ての児童の健全育成のため、平成13年度からモデル事業として始め、18年度、全校で実施された。平成28年度、7時までの時間延長し、おやつも実施した。

### 概要

実施日	月曜日から土曜日（日曜、祝日、年末年始は休み）
利用時間	放課後から7時、土曜日、長期休暇は午前8時15分から午後7時 （午後5時以降は保護者の就労の条件が必要。）
利用施設	専用スペース、使用されていない校庭、体育館、特別教室等
利用料	午後5時まで 月 250円 午後6時まで 月 3,250円 午後7時まで 月 4,250円 保険料 年650円 勉強会参加費 週1回の参加で月500円 教材費は実費

### 事業内容

学校と一体化した運営で、一日の様子など学校と連携も取るなど情報の共有している。大学やNPO法人、地域のボランティアなど区民との共同による運営。フリータイム、伝統文化、スポーツ、環境、音楽などの教室、週1～2回の勉強会を実施。スタッフは各校に正規職員1名を配置し、勉強会や教室は非常勤職員、委託スタッフにより実施。

### 提言

学校施設を利用することで、安心して安全に見守りができること、また、留守家庭とは言えない年配の祖父母がいるということで児童クラブに入ることができず、特に夏休みなどの長期休暇の居場所に困っているという保護者からの話もあるので、品川区の取り組みのように、すべての児童を対象に実施されている「すまいるスクール」は本市でもぜひ実施していただきたい。本市では、放課後子ども教室がモデル的に実施されているが、なかなか全校へ展開できないことの解決策がこの品川区の取り組みにあるのではないか。

## QRコードを用いた徘徊認知症高齢者の早期発見について

入間市では、平成28年11月より、徘徊癖のある高齢者の早期保護及び安全各日のため、また、介護者の精神的負担軽減のため、「徘徊身元確認支援サービス」開始した。

徘徊御保護されても、自宅から離れて保護された場合、身元が分からなくなってしまう高齢者が多くいるという現状を解決するため、足の爪に1cm四方のQRコードが印字されたシールを貼ることで、予め徘徊の心配のある高齢者を番号で登録し、その身元番号が入間市役所に連絡が入り、身元が確認でき、家族のもとへ無事帰ることができるというシステムを導入した。

入間市 0 0 0 電話 0429641111

QRコードにより読み取れる身元番号と入間市役所の電話番号

1回の貼り付けで2週間程度もつ。スマホのアプリで読み取り可能。1回に1シート8枚を2シートで16枚を交付。

手の指の爪では自分ではがしてしまう心配があるので足に貼る。  
埼玉県警、警視庁や近隣市へこのシステムについて周知を図る。  
平成28年度は補正予算で、75,600円(70シート分)。  
平成29年度45万円。

### 提言

足の爪につけることで、意識せずに身に着けられ、大変有効なグッズである。費用も安価なので、ぜひ、本市でも取り入れてはどうか。